

学びの杜通信

第35号 平成29年9月8日発行



研修報告 **育てます**

(1) 環境学習プログラム研修

「[環境学習プログラム](#)」に関する研修を、7月7日（金）、27日（木）、8月22日（火）の3日間で行いました。

7月27日（木）に実施した選択活動のうち、『水・生き物』に関する環境学習プログラムでは、センターの近くを流れる田川に行き、そこに生息する生き物（指標生物）から、水の汚れ具合を判定する活動を行いました。この活動の中で、今年度、新たに導入したデータロガーを使って、水の濁度（濁り具合）等を測定しました。このデータロガーは、県の企業局が環境保全に資する事業を補助する「電気事業資金活用事業」を活用して導入したものです。今後、「環境学習プログラム」に関する研修をはじめ、環境学習に関する内容を扱う研修の中で活用していく予定です。

「環境学習プログラム」に関する研修は、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等において環境学習を行う際の参考になります。来年度も実施を予定していますので、是非、受講してみてください。

【問合せ先】 研修部（Tel 028-665-7202）



トビケラの仲間、プラナリア、ドジョウなどを見つけました。



データロガーを使って水の濁度を測定しています。温度、湿度、pH など 13 項目を測定できます。PC に接続してグラフなどを表示させることもできます。

(2) 教育相談特別講座

8月10日（木）に、以下の内容で今年度の教育相談特別講座を行いました。

テーマ 「保護者とのパートナーシップ
～子どもを育む連携の在り方を考える～」

基調講演「共に子どもを育むために」

信州大学教職大学院教授 上村 恵津子氏

シンポジウム「パートナーシップの構築を目指して

～連携の実際から～」

話題提供者：足利市立南小学校 北澤 譲氏

上三川町立明治中学校 吉田 はるみ氏

県立鹿沼商工高等学校 小笠原 泰子氏

指定討論者：信州大学教職大学院教授 上村 恵津子氏



午前の基調講演では、上村教授から、特に保護者との面談場面について、コンサルテーションの視点も加えながらお話いただきました。午後のシンポジウムでは、話題提供者の実践の紹介や、参加者同士での意見交換が行われました。下記のような感想が寄せられましたので、一部をご紹介します。

- ・コンサルテーションの目的やプロセスがよく分かりました。実践につなげていきたいと思えます。
- ・保護者との面談での目的確認の重要性や保護者の背景に目を向けるということが印象に残りました。
- ・保護者と良好な関係を築くためには、まずは子どもとの信頼関係を築くことが大切だと感じました。
- ・様々な校種、年代の先生方と意見交換ができ、大変参考になりました。

今年度もたくさんの御参加ありがとうございました。

【問合せ先】 教育相談部（Tel 028-665-7211）

(3) スタートカリキュラム講座

小学校入学当初の生活科を中心とした合科的な指導の工夫であるスタートカリキュラムが、今回の学習指導要領の改訂により、第1章総則の「学校段階等間の接続」に明記され、生活科固有の課題としてではなく、教育課程全体を視野に入れた取組となりました。

本県でも、「栃木県教育振興基本計画 2020」において、「スタートカリキュラムが編成・実施されている小学校の割合」を推進指標の一つとし、平成32年度までに実施率100%を目指しています。これらを踏まえ、8月23日（水）に「スタートカリキュラム講座」を以下の内容で実施しました。

講話「幼稚園・保育所・こども園って？～入学前の生活～」
講話「スタートカリキュラムって？～入学当初の生活～」
協議「自校のスタートカリキュラムを見直そう」

※小学校だけでなく、幼稚園・保育所等の先生も参加し、持ち寄ったスタートカリキュラムを見ながら、入学当初の子どもの具体的な姿やエピソードを含め、話し合いました。

幼稚園では、「自分で考える」子どもになるよう遊びを工夫していますよ。

幼児期に様々な経験をしているんですね。もっと「できる」ことを生かして学校生活を始められるよう考えてみます！



【問合せ先】 幼児教育部（TEL 028-665-7215）

研修支援レポート

「小学校外国語活動の授業づくり」について **支えます**

小教研南那須支部外国語活動部会から依頼をいただき、7月下旬に講話・演習を実施しました。

講話では、まず、小学校における外国語教育のこれまでと今後の変化の概要について説明しました。その上で、現行の学習指導要領の内容をしっかりと行うことや、単元を見通した指導について意識することが、今後の外国語科及び外国語活動の授業づくりで大切であることを確認しました。

次に、当センターが作成した「小学校外国語活動授業づくりガイド」の中で示している授業づくりの3つの視点、「み（見通した指導）」・「も（英語を使うモデル）」・「ば（場面設定）」について説明しました。

その後、実際の授業のDVDを視聴し、「み（見通した指導）」について理解を深めました。また、意味のあるコミュニケーションができるような「ば（場面設定）」を考えることを目的とした演習を行い、班ごとに協議しました。効果的な場面設定や手立てについて、各班で活発な意見交換が行われました。

最後に、教科化されることで追加になる指導内容や、次年度からの移行措置について説明しました。次年度から実施する内容ということもあり、先生方は熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

研修でも使用したリーフレット「小学校外国語活動授業づくりガイド」は、センターWebサイトからダウンロードすることができます。

→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/gaikokugokatsudo_h28/index.htm

【問合せ先】 研究調査部（TEL 028-665-7204）



小学校外国語活動授業づくりガイド（平成29年3月）



○この通信に関する御意見・御感想をお待ちしています。入力・送信は [こちら](#) から
・センターホームページ（TOP）は、[こちら](#) ・学びの杜通信のバックナンバーは、[こちら](#)